



九州歯科大学 図書館だより NO.81

この図書館だよりが出る頃には、歯科医師国家試験の結果発表もおわっていることでしょう。合格された人、心から尊敬します。僕が合格した時とは、全く異次元の厳しい試験だと思います。残念だった人、また、がんばればいいだけです。僕も同じ立場で受験していたら、残念な結果だったかもしれません。合格した人も、残念だった人も、そして、来年度以降、国家試験受験生となる人も、是非、図書館をご利用ください。図書館には国家試験の役立つ書籍も明日からの臨床に重宝する書籍も揃っています。これらの書籍と図書館で過ごした時間は必ずや皆さんの糧となるはずです。

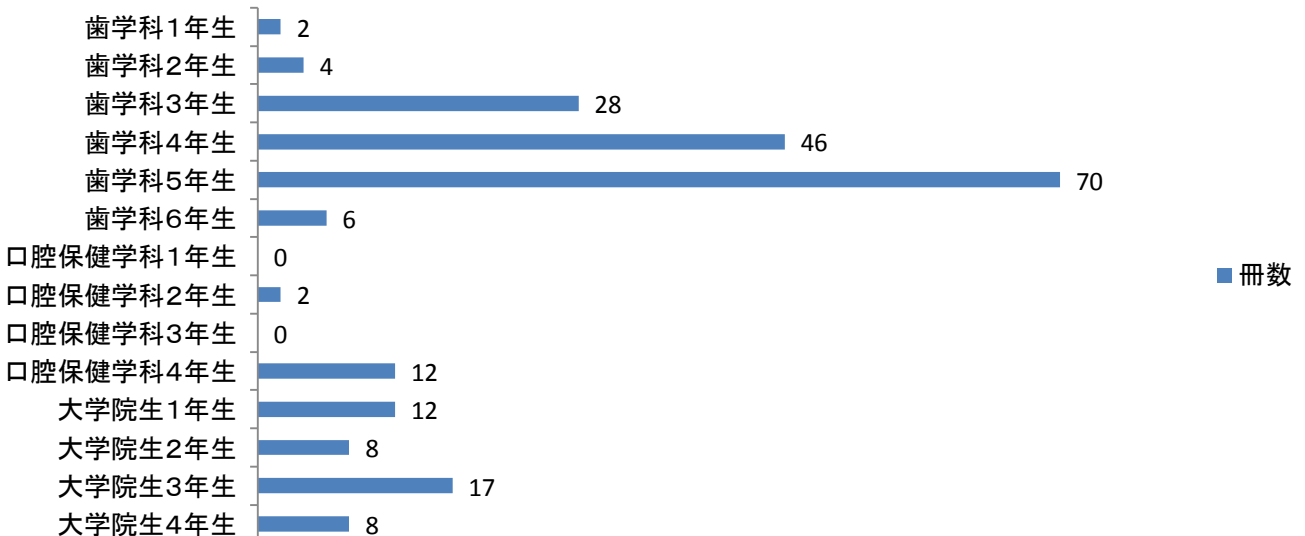
図書館運営部会 臼井通彦

貸出ランキング



- 1位 口腔外科学 / 白砂兼光, 古郷幹彦編
- 2位 徹底分析!年度別歯科衛生士国家試験問題集 2016年版 / 歯科衛生士国試問題研究会編
- 3位 口腔外科学総論・麻酔学 / 麻布デンタルアカデミー編
- 4位 歯周病学 / 麻布デンタルアカデミー編
- 5位 歯科矯正学 / 相馬邦道 [ほか] 編集; 相馬邦道 [ほか] 執筆
- 6位 公衆衛生がみえる 2016-2017 / 医療情報科学研究所編
- 7位 キャスターという仕事 / 国谷裕子著
- 8位 対話する社会へ / 暉峻淑子著
- 9位 文庫解説ワンダーランド / 斎藤美奈子著
- 10位 新発生学 / 白澤信行編著; 白澤伸行, 佐藤巖, 小泉憲司執筆

貸出冊数(2月)



選書ツアーおすすめ本



ライムスター宇多丸のウィークエンドシャッフル神回傑作選 vol.1
TBSラジオ「ライムスター宇多丸のウィークエンド・シャッフル」編集

この本はあるラジオの書き起こしであり、様々な分野に精通した人がたくさん登場する。映画、文具、アイドル、スクリプトドクター、80年代音楽、王貞治、戦後自民党史などなど...その話題は多岐に渡る。シナリオ論やフード理論はまさに目から鱗の話ばかりで、自分の映画の見方が180度変わった。特に映画の残酷、野蛮表現について提言した回で出てきた「無知の自覚」については身につまされる話であると同時に心底納得した。自分にない価値観や考え方に会える読書体験を求める方には是非！

ユナイテッド・ステイツ・オブ・ジャパン ピーターライアス(著), 中原 尚哉(翻訳)

「時代は第二次世界大戦後、日独枢軸が勝利しアメリカは日本の統治下の中、巨大ロボット兵器が闊歩するこの日本合衆国...」、というあらずじ書きから、きつと表紙の重厚でSF感あふれるメカ同士がミサイルを撃ったりしながら激しくぶつかり合うのだろうと期待してこの本を選びました。しかし内容は、帝国統制下のディストピアを書いた暗めの雰囲気のある作品。結果派手な戦闘シーンはあまりありませんでしたが、軍人と特高警察、反乱軍やスパイなどの様々な立場の登場人物が織りなす展開に手に汗握ることになり、良い形で期待を裏切られました。

電子端末で連絡を取り映像を見たりもできる、今の先進国と変わらない戦後の豊かな生活の中、大日本帝国の憲兵による監視社会はしっかり続いているのも一つの見どころです。主人公はぼんくらの軍人で、そんな社会体制にうんざりしつつも折り合いをつけて暮らしています。現実の戦時中の人々も同じように社会に疑問を抱きつつも仕方なく従っていた人も多かったのだろうといろいろ想像してしまいました。

あまりスッキリできる結末ではなく、正史をはるかに超えたテクノロジーに若干違和感があったりもしますが、近未来の空気感を楽しめる方なら読んで損はないと思います。



仮面病棟 知念 実希人

ミステリーの中でも人気のジャンルである「密室」に近い状況が設定された、「閉ざされた空間」で事件が起こるという作品である。深夜の療養型病院で、急ぎ先輩ドクターの代わりに当直医として入った主人公が勤務しているところに、ピエロのマスクをかぶった男が拳銃を片手に病院に押し入り籠城する。人質にするつもりで途中拉致したものをつい撃ってしまったという若い女を連れており、治療を主人公に命じる。女性の治療を済ませた後、犯人は外部との接触を断ち、主人公たちは病院の中に閉じ込められてしまう。

読み始めた当初は、普通の籠城もののように犯人を説得したりそこから逃げ出す物語かと感じるが、そうではない。密室からどうにか脱出しようと試みる中で、病院に隠された深い闇が浮き彫りになってきて、物語がどんどん予想外の方向に進んでいく。自分が命を救った人質の美しい少女、なぜか警察への通報をかたくなに拒む院長(電話線を自ら切しまっ!), ピエロの面という非日常的な気味悪さを体現している強盗犯。普段の生活では目にしない怪しい人々ばかりが出てくるところも、密室という状況に相まって、どんどんこの物語に入り込んでしまう要素になっている。

自分もその場に閉じ込められたかの様な錯覚に陥る、臨場感あふれるRPG的「密室もの」である。どんでん返しの連続で最後まで気が抜けないが、一気に読んでしまう作品である。

